

# 緩和ケアだより

## がん疼痛管理ポケットマニュアルを 改訂しました！

緩和ケアセンターが作成・発行している「がん疼痛管理ポケットマニュアル」は、今年も改訂作業を終え、10月に第12版を発行しました。すでにみなさんのお手元にも届いていると思いますが、今回はピンク色です。ピンク色以外のポケットマニュアルは古い版ですので、お間違えのないようお願いします！

### 今回変更した内容の一部についてご紹介します

#### ・WHOの3段階除痛ラダーの削除

⇒必ず第2段階にあたる弱オピオイドから開始する必要はなく、患者ごとに詳細な評価を行い、それに基づいて鎮痛剤を選択することが重要。高度の痛みであれば、初めから第3段階にあたる強オピオイドを必要とする例もある。

#### ・終末期の鎮静に関する項目の追加

⇒治療抵抗性の耐え難い苦痛に対する鎮静の概要について説明。判断に悩む場合には緩和ケアセンターへご相談ください。

#### ・当院で採用されているオピオイドの一覧の変更

⇒本年度の新規採用・変更に合わせて一覧も修正しました。

国内で販売されるオピオイドの種類も増え、何を選択するのが悩みどころになっています。当院では定数が決まっております院内処方できる種類は限られておりますが、オピオイド処方時にはこの一覧もご参照ください。

#### ＜新規採用＞

- ・ナルサス<sup>®</sup>錠、ナルラピド<sup>®</sup>錠の追加

#### ＜変更＞

- ・オプソ<sup>®</sup>内用液10mg→5mg
- ・フェントス<sup>®</sup>テープ1mg→0.5mg  
(2mgの規格はそのまま)
- ・ナルベイン<sup>®</sup>注20mg→2mg

#### ＜削除＞

- ・アブストラル<sup>®</sup>舌下錠
- ・タペンタ<sup>®</sup>錠

	投与経路	商品名	規格	投与間隔(定時投与時)	Tmax	効果発現時間	半減期(時間)	作用時間(時間)
モルヒネ	経口	モルベス <sup>®</sup> 錠	10mg/包	12時間 or 8時間	2~4時間	—	7~9	8~12
		オプソ <sup>®</sup> 内服液	5mg	4時間	30~60分	15~30分	2~3	3~5
		モルヒネ塩酸標準末	100mg/g	4時間	0.5~1.3時間	10分	1.9	4
	静注・皮下注	モルヒネ塩酸塩注	10mg/1ml	—	—	—	—	—
オキシコドン	経口	オキシコドン徐放錠	5mg 20mg 40mg	12時間	2~3時間	—	6~9	12
		オキゾーム <sup>®</sup> 錠	2.5mg 10mg	4 or 6時間	100~120分	15~30分	4.5~6	4~6
	静注・皮下注	オキシコドン注	10mg/1ml 50mg/5ml	—	—	—	—	—
		フェントス <sup>®</sup> テープ	0.5mg 2mg	24時間	17~48時間	—	4	24
フェンタニル	経皮	フェンタニル注	0.1mg/2ml	—	—	—	—	—
	静注・皮下注	フェンタニル注	0.1mg/2ml	—	—	—	—	—
ヒドロモルフォン	経口	ナルサス <sup>®</sup> 錠	2mg 6mg	24時間	5時間	—	6~10	24 (2mg単位投与時)
		ナルラピド <sup>®</sup> 錠	1mg	4or6時間	30分 (1mg単位投与時)	15~30分	2~8	4~6
	静注・皮下注	ナルベイン <sup>®</sup> 注	2mg/1ml	—	—	—	—	—
		ナルベイン <sup>®</sup> 注	2mg/1ml	—	—	—	—	—
コデイン	経口	コデインリン酸塩錠10%	100mg/g	4 or 6時間	1時間	30~45分	3.5	4~6
		トラマール <sup>®</sup> OD錠	25mg	4 or 6時間	1~2時間	20~40分	4~6	4~6
トラマドール	経口	ワントラム <sup>®</sup> 錠	100mg	24時間	9~12時間	—	6~8	24



# 「がん疼痛管理ポケットマニュアル」 改訂説明会動画の視聴について



「がん疼痛管理ポケットマニュアル」改訂説明会の動画を視聴できます。  
第12版の改訂点と活用のポイントについて説明しておりますので、ぜひご視聴ください。

視聴方法：HIS端末内研修会ページにて視聴（詳細は、HIS端末に掲載しています）。

視聴後は、HIS端末内に表示されるアンケートにご回答ください。

視聴期間：令和3年3月31日（水）まで

## 緩和ケアセンターチームメンバーのご紹介

今月で百瀬薬剤師が退職することとなりました。また、精神科担当医師が平野梨聖先生に代わり、新体制となります。よろしくお願いします！



薬剤師

ももせ かず

百瀬 和 さん



秋田大学病院緩和ケアセンター専従薬剤師として1年間お世話になりました。

私事ながら、新年1月からは東京での勤務となります。緩和ケアセンターでは、多職種連携の大切さを実感致しました。これからも、皆様とのご縁を大切に精進して参ります。秋田大学医学部附属病院のさらなるご発展と皆様方のご健勝を祈念し、感謝を込めてお別れの言葉に代えさせていただきます。ありがとうございました。



精神科

ひらの りさ

平野 梨聖 先生



はじめまして。この度緩和ケアチームの精神面の担当をさせて頂くことになりました、平野と申します。この度ご縁があり、前任の藤原先生から職務を引き継がせて頂きました。病気に伴う様々な精神症状の緩和を目指し、心のケアにとどまらず社会的な問題へのケア、退院後の療養生活に向けた精神的な支援を行って参りたいと思います。細やかながらも皆様のお役に立てますと、甚幸に存じます。精一杯頑張りますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

## 2020年度Akita地域緩和ケア勉強会のお知らせ

令和3年1月20日（水）午後7時～午後8時頃

第2回「よろしくお願いします-秋田の緩和ケアを一緒に考えましょう-」

秋田大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 杉本 侑孝

【申し込み方法】今年度はWEB形式ですので申し込み方法が異なります。

あらかじめ皆様のパソコン、スマホ、タブレットにWeb会議アプリ「ZOOM」をダウンロードし、ZOOMに登録したうえで下記より事前登録を行ってください。

<https://zoom.us/meeting/register/tJwkd-ugpzwjE9cUlv-r-dcLTKDZEcUAdXTxd>

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

※秋田県緩和ケア研究会のメーリングリストに登録されている方は、当勉強会の広報のメールからも登録できます。

※パソコンの方は聴講だけであればWEBカメラ、マイクは不要です。

【問い合わせ】

緩和ケアセンター 安藤秀明 Eメール：[andoh@gipc.akita-u.ac.jp](mailto:andoh@gipc.akita-u.ac.jp)